

### 行仙宿周辺整備

◇実施日…2020年3月1日(日) 晴

◇参加者…梶野照雄 1名

先日、行仙宿から持ち降ろして清掃・整備したチェーンソーを荷揚げ、掃除機のホースが手に入ったので、水場の底に溜まったゴミが吸えるかを試すために行仙宿に向かった。



林道の工事終了

ホースが延長されていた

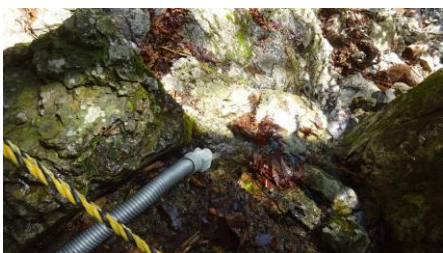
モノレール終点で

10時少し前に登山口に着く。登山口の手前で行われていたモルタル吹付工事は、ほぼ終了していて、作業員一名が重機で残った砂を林道に均していた。歩いて工事現場に戻り、作業員と話をした。工事は終わったので、後片付けをしているとのことだった。もう一件、

下北山村で電源開発の工事を掛持ちしているが、好天が続く林道の工事は、早く終わることができたようだ。水場から林道まで引いたホースの先に、工事現場までホースが延長されていて、工事に必要な水を賄っていたようだ。

モノレールに荷物を積んで登りだす。補給路も、見渡せる山々にも雪は全く無く、霜柱も見当たらない。3月の始めではあるが、すっかり春の様相だ。

行仙宿に到着、玄関わきの温度計は8℃を指している。掃除機のホースと熊手を持って水場に降りた。



外気温は8℃

行仙宿に到着

水場で

水場は水量が多く、落石は殆ど無かった。掃除機のホースで水を吸い出してみる。順調に吸い出せたがすぐに止まってしまった。

ホースが短くて、水溜の底より下に先端が届いていないために、底まで吸いきれないことが判った。ホースを少し延長する方法を考えしてみる。

小屋に戻って昼食。食後、整備したチェーンソーを倉庫に戻し、もう一台のチェーンソーを持って行仙岳に向かう。



放置されていた倒木



簡単に切除できた



途中の斜木も切除

白谷トンネルからの合流部に数年前から倒れ掛かっている杉の木を切除する。直径は30cm位なので、苦勞することなく切除完了。小屋に戻る途中で20cmほどの斜木を切除。一か所を切っている途中でチェーンが外れてしまった。工具を出してチェーンを取り付け直す。素手で触ると温度が高い。チェーンオイルが出ていない可能性がある。チェーンに直接オイルをたらしながら、残りの木を切って小屋に戻った。機会を見てこのチェーンソーも清掃・整備したいと思う。

小屋でコーヒーを入れて休憩、戸締りを確認して下山した。



笠捨山にも雪は無い



行仙宿に戻る



下山完了

### 行動タイム

09:55 登山口 → 10:55 行仙宿 → 11:15 水場 → 11:55 行仙宿 13:00  
→ 13:25 行仙岳南 13:47 → 14:45 行仙宿 15:10 → 15:35 登山口

(記；梶野)